

建築工事成績採点表[完成]

工事名：

令和 年 月 日作成

考 査 項 目		①一般監督員						②総括監督員						③検査員									
		氏名						氏名						氏名									
項目	細目	a	b	c	d	e	評価	a	a'	b	b'	c	d	e	評価	a	a'	b	b'	c	d	e	評価
1.施工体制	I 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10																	
	II 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10																	
2.施工状況	I 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10										+5.0		+2.5		0	-7.5	-15	
	II 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10		+2.0		+1.0		0	-7.5	-15									
	III 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10		+3.0		+1.5		0	-7.5	-15									
	IV 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																	
3.出来形 及び 出来ばえ	I 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0										+10	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10	-20	
	II 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0										+15	+12	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25	
	III 出来ばえ															+5.0		+2.5		0	-5.0		
4.工事特性	I 施工条件等の対応(※2)																						
5.創意工夫	I 創意工夫等(※3)																						
6.社会性等	I 地域への貢献等(※4)							+10	+7.5	+5.0	+2.5	0											
加減点合計 (1+2+3+4+5+6)		点						点						点									
評 定 点 (※1)		①						②						③									
評 定 点 計		点						(① 点×0.4+② 点×0.2+③ 点×0.4)=評定点計						点									
7.法令遵守等 (※5)		点						法令遵守等の該当事由															
評 定 点 合 計 (※6)		点						評定点計 ( 点) - 法令遵守等 ( 点) =						点									
所 見 (※7)		[一般監督員]						総括監督員						検査員									

- ※ 1 65点 + 加減点合計(1+2+3+4+5+6)とする。 各評定点(①~③)は小数第1位まで記入する。
- ※ 2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然条件・地盤条件、長期における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価に際しては、一般監督員からの報告をうけて総括監督員が評価する項目である。
- ※ 3 創意工夫等は、工事特性のような難易度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。
- ※ 4 社会性等の評価では地域への貢献等の観点から、加点評価のみとする。
- ※ 5 法令遵守等は減点評価のみとし、評価は総括監督員(総括監督員の任命がない場合は一般監督員)又は検査員が完成検査時に行う。
- ※ 6 評定合計は、少数第一位の四捨五入により整数とする。
- ※ 7 所見には、評定結果の概要を記載する。
- ※ 8 各考査項目ごとの採点は、工事成績評定の採点考査項目表によるものとし、検査員(完成)の評価に先立ち、一般、総括監督員が行う。
- ※ 9 各考査項目ごとの採点は、別紙1~3考査項目別運用表によるものとする。